第５章　火災による死傷者の状況

１　火災による死者

○　火災による死者は 91 人で、前年と比べて３人減少。

(1)　発生状況

ここでとりあげる「火災による死者」とは、火災に起因して死亡した者をいい、「自損行為」とは、放火による自損行為のことをいいます。

火災による死者の年別発生状況をみたものが表 5-1-1、年齢区分別と火災種別、男女別の死者発生状況をみたものが表 5-1-2、月別火災件数と自損行為を除いた死者の発生状況をみたものが表 5-1-3 です。

表 5-1-1　年別発生状況（最近 10 年間）

年別	全火災件数	死者の発生した火災件数	死者発生率（%）	死者数合計	自損行為以外の死者数	年齢区分 5歳以下	6－19歳	20－64歳	65－74歳	75歳以上	不明
28 年	3,980	77	1.9	83(15)	68	1(-)	-(-)	28(9)	28(6)	24(-)	2(-)
29 年	4,204	76	1.8	79(14)	65	-(-)	1(-)	27(8)	20(5)	30(-)	1(1)
30 年	3,972	79	2.0	86(12)	74	-(-)	-(-)	24(3)	30(6)	32(3)	-(-)
元年	4,085	95	2.3	108(17)	91	1(-)	-(-)	42(8)	29(3)	36(6)	-(-)
2 年	3,693	80	2.2	86(10)	76	-(-)	-(-)	27(8)	17(1)	42(1)	-(-)
3 年	3,935	78	2.0	86(14)	72	-(-)	-(-)	26(10)	17(1)	43(3)	-(-)
4 年	3,952	78	2.0	89(14)	75	-(-)	1(-1)	26(5)	23(1)	38(6)	1(1)
5 年	4,329	82	1.9	86(15)	71	-(-)	-(-)	28(6)	19(6)	39(3)	-(-)
6 年	4,517	84	1.9	94(5)	89	1(-)	1(-)	28(4)	17(1)	47(-)	-(-)
7 年	**5,273**	**87**	**1.6**	**91(8)**	**83**	**-(-)**	**-(-)**	**19(6)**	**18(2)**	**46(-)**	**-(-)**

注１　火災件数は、治外法権火災及び管外からの延焼火災を除いています。
２　（　）は「自損行為による死者」数を内数で示したものです。
３　死者発生率とは、死者の発生した火災件数が全火災件数に占める割合です。

○　死者発生状況をみると、死者の発生した火災は 87 件（前年比３件増加）、死者は 91 人発生（前年比３人減少）。
○　死者発生率をみると、全火災件数の 1.6％で発生。

表 5-1-2　年齢区分と火災種別、男女別死者発生状況

死者の年齢区分		火災種別 合計	建物火災 小計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	車両	その他	男女別 男性	女性
火災件数		87	78	19	17	34	8	3	6		
死者数	合計	91	82	22	17	34	9	3	6	53	38
	自損行為以外	83	80	22	17	32	9	2	1	49	34
	5歳以下	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	6－19歳	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	20－64歳	19	17	4	1	7	5	2	－	12	7
	65－74歳	18	17	4	3	10	－	－	1	13	5
	75歳以上	46	46	14	13	15	4	－	－	24	22
	自損行為による死者	8	2	－	－	2	－	1	5	4	4

表 5-1-3　月別火災件数と死者発生状況

項目		月 / 合計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
火災件数		5,273	492	499	463	391	370	387	396	404	395	447	449	580
死者数	合計	83	9	13	9	6	－	1	5	3	7	3	10	17
	高齢者以外	19	2	3	3	1	－	－	1	1	1	－	5	2
	高齢者	64	7	10	6	5	－	1	4	2	6	3	5	15
高齢者の占める割合（％）		77.1	77.8	76.9	66.7	83.3	－	100	80.0	66.7	85.7	100	50.0	88.2

注１　火災件数は、治外法権火災及び管外からの延焼火災を除いています。
　２　死者数は、自損行為による死者を除いています。
　３　１月から３月及び 12 月を合わせた期間を「火災多発期」といいます。

○　男女別に死者発生状況をみると、男性が 53 人（58.2%）、女性が 38 人（41.8%）発生。
○　年齢区分別に死者発生状況をみると、自損行為を除く高齢者の死者は 64 人（77.1%）で、自損行為を除く死者数の８割近くを占める。
○　火災種別ごとの自損行為を除く死者発生状況をみると、80 人が建物火災で発生。
○　建物火災による死者のうち､部分焼以上に延焼拡大した火災による死者は 73 人(89.0%)発生。
○　月別火災件数と死者発生状況をみると、火災多発期の火災件数は 2,034 件（38.6%）で、自損行為を除く死者数は 48 人（57.8%）となっており、６割近くを占める。

⑵　出火原因別発生状況

発火源別の経過・火災種別ごとに発生した自損行為を除く死者数をみたものが表 5-1-4、年齢区分と発火源別の自損行為を除く死者発生状況をみたものが表 5-1-5 です。

表 5-1-4　発火源別の経過・火災種別死者発生状況

発火源		合計	経過								火災種別						
			可燃物が接触する	火源が落下する	電線が短絡する	不適当な処に捨てる	放火（疑い含む）	トラッキング	引火する	その他・不明	建物					車両	その他
											小計	全焼	半焼	部分焼	ぼや		
合計		83	18	16	7	4	3	3	3	29	80	22	17	32	9	2	1
たばこ		17	－	12	－	4	－	－	－	1	17	2	2	12	1	－	－
電気設備機器	小計	24	11	－	7	－	－	3	－	3	24	4	10	7	3	－	－
	電気ストーブ	6	6	－	－	－	－	－	－	－	6	2	1	2	1	－	－
	コード	5	－	－	4	－	－	－	－	1	5	－	3	2	－	－	－
	カーボンヒータ	2	2	－	－	－	－	－	－	－	2	－	－	2	－	－	－
	サウナヒータ	2	2	－	－	－	－	－	－	－	2	－	－	－	2	－	－
	屋内線	2	－	－	2	－	－	－	－	－	2	1	1	－	－	－	－
	差込みプラグ	2	－	－	－	－	－	2	－	－	2	1	1	－	－	－	－
	電気あんか	2	－	－	－	－	－	1	－	1	2	－	2	－	－	－	－
	電気こたつ	1	1	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	1	－	－	－
	コンデンサ（低圧）	1	－	－	－	－	－	－	－	1	1	－	1	－	－	－	－
	サーキュレータ	1	－	－	1	－	－	－	－	－	1	－	1	－	－	－	－
ガス設備器	小計	9	4	－	－	－	－	－	1	4	9	3	－	4	2	－	－
	ガスこんろ	3	1	－	－	－	－	－	－	2	3	1	－	1	1	－	－
	ガステーブル	2	1	－	－	－	－	－	1	－	2	－	－	1	1	－	－
	簡易型ガスこんろ	2	1	－	－	－	－	－	－	1	2	1	－	1	－	－	－
	ガスストーブ	1	1	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	1	－	－	－
	大型ガスこんろ	1	－	－	－	－	－	－	－	1	1	1	－	－	－	－	－
線香		3	－	3	－	－	－	－	－	－	3	2	－	1	－	－	－
ライター		2	－	－	－	－	－	－	1	1	2	－	－	2	－	－	－
石油ストーブ		1	1	－	－	－	－	－	－	－	1	1	－	－	－	－	－
木炭七輪こんろ		1	－	－	－	－	－	－	－	1	1	－	－	1	－	－	－
炭おこし		1	1	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	1	－	－
炭火		1	－	－	－	－	－	－	－	1	1	－	－	1	－	－	－
蚊取線香		1	－	1	－	－	－	－	－	－	1	1	－	－	－	－	－
焼却火		1	1	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	1	－	－
車両等の衝撃火花		1	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	1	－
排気管		1	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	1	－
不明		20	－	－	－	－	3	－	－	17	19	9	5	4	1	－	1

注　自損行為による死者を除いています。

表 5-1-5　年齢区分と発火源別死者発生数

発火源		合計	年齢区分				
			5歳以下	6－19歳	20－64歳	65－74歳	75歳以上
合計		83	－	－	19	18	46
たばこ		17	－	－	4	6	7
電気設備機器	小計	24	－	－	4	2	18
	電気ストーブ	6	－	－	－	－	6
	コード	5	－	－	－	－	5
	カーボンヒータ	2	－	－	1	1	－
	サウナヒータ	2	－	－	2	－	－
	屋内線	2	－	－	－	－	2
	差し込みプラグ	2	－	－	－	1	1
	電気あんか	2	－	－	－	－	2
	電気こたつ	1	－	－	－	－	1
	コンデンサ(低圧)	1	－	－	－	－	1
	サーキュレータ	1	－	－	1	－	－
ガス設備機器	小計	9	－	－	1	4	4
	ガスこんろ	3	－	－	－	1	2
	ガステーブル	2	－	－	1	1	－
	簡易型ガスこんろ	2	－	－	－	1	1
	ガスストーブ	1	－	－	－	1	－
	大型ガスこんろ	1	－	－	－	－	1
線香		3	－	－	1	1	1
ライター		2	－	－	1	－	1
石油ストーブ		1	－	－	－	－	1
木炭七輪こんろ		1	－	－	－	－	1
炭おこし		1	－	－	1	－	－
炭火		1	－	－	1	－	－
蚊取線香		1	－	－	1	－	－
焼却火		1	－	－	－	－	1
車両等の衝撃火花		1	－	－	1	－	－
排気管		1	－	－	1	－	－
不明		20	－	－	3	5	12

○　発火源別でみると、電気設備機器が 24 人（28.9%）、たばこが 17 人（20.5%）、ガス設備機器が９人（10.8%）など発生。

○　電気設備機器による火災の死者は、電気ストーブが６人（25.0%）で最多、年齢区分別でみると 75 歳以上が６人（25.0%）で最多。

○　発火源別の経過をみると、たばこによる火災は「火源が落下する」で 12 人（70.6%）、「不適当な処に捨てる」で４人（23.5%）発生。年齢区分別でみると、たばこによる火災の死者は高齢者が 13 人（76.5%）発生。

注　自損行為による死者を除いています。

２　火災による負傷者

○　火災による負傷者は、927 人で前年と比べて 133 人増加。

⑴　発生状況

ここでとりあげる「火災による負傷者」とは、火災に起因して負傷した人をいいます。

ア　発生状況

火災による負傷者の年別発生状況をみたものが表 5-2-1 です。

表 5-2-1　年別発生状況（最近 10 年間）

年別	全火災件数	負傷者の発生した火災件数	負傷者発生率（%）	負傷者数合計	負傷者区分			
					一般人			消防活動従事者
					小計	自損行為以外	自損行為	
28 年	3,980	604	15.2	853(8)	842(8)	831(7)	11(1)	11
29 年	4,204	569	13.5	758(9)	750(9)	734(7)	16(2)	8
30 年	3,972	530	13.3	798(19)	787(19)	775(18)	12(1)	11
元年	4,085	540	13.2	705(9)	700(9)	687(7)	13(2)	5
2 年	3,693	561	15.2	710(3)	705(3)	690(3)	15(-)	5
3 年	3,935	528	13.4	664(4)	658(4)	647(4)	11(-)	6
4 年	3,952	568	14.4	742(4)	734(4)	718(2)	16(2)	8
5 年	4,329	581	13.4	750(1)	732(1)	725(1)	7(-)	18
6 年	4,517	584	12.9	794(3)	786(3)	776(2)	10(1)	8
7 年	**5,273**	**693**	**13.1**	**927(4)**	**906(4)**	**892(3)**	**14(1)**	**21**

注１　火災件数は、治外法権火災及び管外からの延焼火災を除いています。
　２　消防活動従事者とは、消防職員、消防団員などの消防活動等に従事した者の区分です。
　３　（　）内は、30 日死者(火災による負傷者のうちで、48 時間を超え 30 日以内に死亡した人)を内数で示したものです(「30 日死者」の項を参照)。
　４　負傷者発生率とは、負傷者の発生した火災件数が全火災件数に占める割合です。

○　負傷者が発生した火災は 693 件（前年比 109 件増加）で、927 人（同 133 人増加）が負傷。そのうち一般人の負傷者は 906 人（同 120 人増加）発生。

イ　火災種別・年齢区分と受傷程度の状況

火災種別と年齢区分別に受傷程度をみたものが表 5-2-2、３人以上の負傷者が発生した火災状況をみたものが表 5-2-3 です。

表 5-2-2　火災種別・年齢区分別受傷程度状況

受傷程度	負傷者数合計	火災種別							年齢区分				
		建物					車両	その他	5歳以下	6－19歳	20－64歳	65－74歳	75歳以上
		小計	全焼	半焼	部分焼	ぼや							
合　計	892	820	45	59	266	450	31	41	18	596	53	84	141
重　篤	22	21	－	3	10	8	1	－	－	8	－	6	8
重　症	66	61	6	9	16	30	－	5	－	26	2	16	22
中等症	189	174	15	20	63	76	6	9	5	111	8	27	38
軽　症	615	564	24	27	177	336	24	27	13	451	43	35	73

注　消防活動従事者（21 人）及び自損行為による負傷者（14 人）を除いた人数です。

表 5-2-3　３人以上の負傷者が発生した火災状況（最近 10 年間）

年別	火災件数	発生した火災件数	負傷者数（３人以上）合計
28 年	604	46	205
29 年	569	34	137
30 年	530	46	237
元年	540	31	113
2 年	561	32	113
3 年	528	27	92
4 年	568	40	141
5 年	581	32	119
6 年	584	36	173
7 年	**693**	**51**	**208**

注　消防活動従事者（21 人）及び自損行為による負傷者（14 人）を除いた人数です。

○　火災種別ごとに負傷者の発生数をみると、建物火災の部分焼以上の火災で負傷者が 370 人（41.5%）発生し、建物火災の４割以上を占める。
○　受傷程度別でみると、軽症が 615 人（68.9%）と最多。
○　火災による負傷者を年齢区分でみると、高齢者は 225 人（25.2%）で、そのうち後期高齢者が 141 人（62.7%）発生。

⑵　出火原因別発生状況

ア　出火原因別受傷時の状態

主な出火原因別及び負傷者の男女別で受傷時の状態をみたものが表 5-2-4 です。

表 5-2-4　主な出火原因別受傷時の状態

受傷時の状態	合計	主な出火原因												男女別	
		ガステーブル等	たばこ	大型ガスこんろ	放火（疑い含む）	コード	電気ストーブ	ライター	ロウソク	屋内線	差し込みプラグ	火遊び	その他	男性	女性
合計	892	138	102	50	38	29	24	18	18	15	11	11	438	535	357
初期消火中	232	33	36	21	10	3	5	2	2	1	4	2	113	173	59
作業中	153	18	3	16	－	2	2	9	3	2	2	－	96	112	41
避難中	108	11	17	6	9	2	1	2	3	2	－	4	51	53	55
家事従業中	89	53	4	－	1	1	3	－	2	－	－	－	25	30	59
就寝中	78	8	11	1	2	8	6	－	3	3	1	－	35	47	31
休憩・休憩中	48	5	9	－	3	4	1	3	－	－	2	－	21	33	15
火災通報中	9	－	2	1	－	－	1	1	－	－	－	－	4	3	6
救助中	8	－	－	－	－	－	－	－	－	6	－	1	1	2	6
飲食中	6	2	－	1	－	1	－	－	－	－	－	－	2	3	3
見物中	5	－	1	1	－	－	－	－	1	－	－	－	2	3	2
採暖中	4	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	3	4	－
火遊び中	4	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	1	2	1	3
消防隊に協力中	4	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	3	3	1
自損を図った	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2	1	1
その他・不明	142	8	19	1	12	8	5	1	4	1	2	3	78	67	75

注　消防活動従事者（21 人）及び自損行為による負傷者（14 人）を除いた人数です。

○　出火原因別の上位３位をみると、ガステーブル等が 138 人（15.5%）で最多。次いでたばこが 102 人（11.4%）、大型ガスこんろが 50 人（5.6%）発生。

○　受傷時の状態別でみると、ガステーブル等では家事従事中に負傷したものが 53 人（38.4%）で最多。次いで初期消火中が 33 人（23.9%）で、この２つでガステーブル等で受傷した６割以上（62.3%）を占める。

○　男女別では、男性が 535 人（60.0%）、女性が 357 人（40.0%）と男性の受傷割合が高い。受傷時の状態をみると、男性は初期消火中、女性は初期消火中及び家事従事中の受傷人数が最多。

イ　受傷の理由

受傷の理由をみたものが図 5-2-1 です。

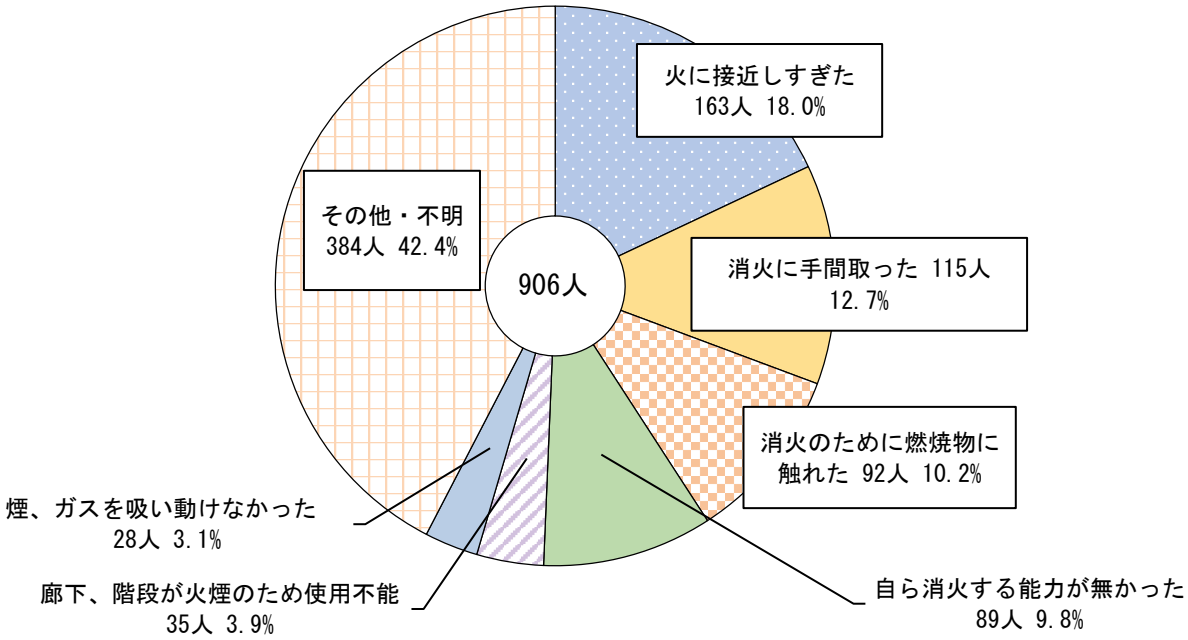


図 5-2-1　受傷の理由

注　「自ら消火する能力がなかった」とは、出火時に家事従事中（調理中など）で着衣着火などにより受傷したものです。

○　受傷の理由をみると、「火に接近しすぎた」が 163 人（18.0%）で最多、次いで「自ら消火する能力がなかった」が 115 人（12.7%）発生。

⑶　30 日死者

30 日死者とは、火災による負傷者のうちで、48 時間を超えて 30 日以内に死亡した人のことをいい、年齢区分状況をみたものが表 5-2-5 です。

表 5-2-5　30 日死者の年齢区分状況

受傷程度	合計	年齢区分				
		5歳以下	6～19歳	20～64歳	65～74歳	75歳以上
重篤	2	－	－	1	－	1
重症	1	－	－	－	－	1

○　令和７年中の 30 日死者は３人で、前年よりも１人増加。